

第25号 (2000.12)

Library Mate

冊子『インターネットで文献探索2000年版』配布開始



当館編集による冊子『インターネットで文献探索2000年版』(写真左)が7月に完成し、配付を開始いたしました。本書の配付は1998年の初版、1999年版に続いて、これで3回目となります。

本書では、各国別のインターネットによる文献探索法を扱います。例えば、図書の内容を知り、購入するにはどこにアクセスすればよいか(例：オンライン書店)またその図書をどこが所蔵しているか(例：図書館)などが分かるようになっています。文献探索のメインとなる図書・雑誌・新聞以外にも、映画データベースや音楽データベース等も扱っています。また、本書で紹介する文献探索データベースは検索無料のものばかりですので代金は一切かかりません。(但し、プロバイダーへの電話料金や接続料金は別)

本書は、実践女子大学・短大関係者(教職員、学生、卒業生)には無償で配布しておりますので、希望される方はカウンターまでお気軽にお申し出下さい。また、日本図書館協会を通じて学外一般の方への販売が9月に開始されたことを申し添えておきます。

日本図書館協会版『インターネットで文献探索2000年版』入手方法

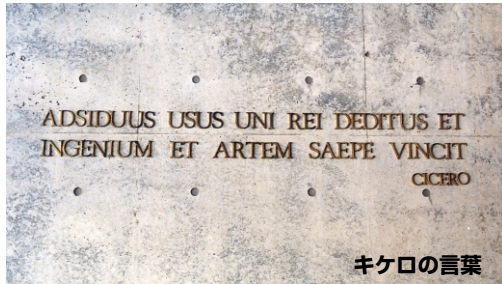
本体価格¥1,800円、ISBN4-8204-0021-5です。近隣の書店(取寄)やオンライン書店にご注文下さるか、日本図書館協会出版販売係(TEL:03-3523-0812)にお問い合わせ下さい。この版については、当館での配布・頒布は一切ございませんのでご注意下さい。

『図書館の利用にあたって』

大学 食生活科学科(元 図書館館長)

教授 宮 沢 文 雄

実践女子大学が他学に向かって先ず誇れるものに図書館があります。入口には「一つの事に向けられた不断の努力は往々にして、天才の技巧に勝る」と書かれたキケロの言葉が目に入りますが、知識の宝庫といわれる優れた図書館はまさしく教育・研究の成果の根源といっても過言ではありません。



受験生は先ず図書館を見学し、「この様な大学で勉強したい」と思った学生も多いことと思います。オープン書架式で如何にも女子大学らしい静かな造りに、学生のみならず多くの図書館を訪れる人達から異口同音に「素晴らしい」とのお褒めの言葉を戴き、案内する立場にあった私も大変誇らしさを覚えたものです。震災ですべてを消失したとはいえ、多くの諸先輩のご努力によって集められた書籍等は、大学、短大あわせて今や約35万冊にのぼっております。中でも文学部国文学科は女子大学の中では最も古くから博士課程が設置されただけあって、他学にはみられない多くの古典籍が特殊コレクションである山岸文庫、黒川文庫、常盤松文庫に所蔵されており、国文学科教員は無論のこと、院生、学生達の貴重な研究材料になっております。

また、本学卒業生である向田邦子の文庫が図書館の一角に設けられ、人気を博しており、研究会も開かれております。

英文学科は、多くの図書とともに特殊コレクション、本間文庫には英国の文豪オスカー・ワイルドの書籍が数多く集められております。理事長澤井勇先生は英文学科教授として教鞭をとられる中で、ワイルドについての講義もされ、日本ワイルド協会の会長もされておられます。本学を尋ねられた外国の方は、オスカー・ワイルド自筆の手紙や髪の毛があることに大変驚かれておりました。

美学美術史学科は昭和60年に設置され、本学としては比較的新しい学科ですが、設立に際し集められた数多くの美術書やその後購入された貴重な図書等は、諸先生方に大変好評を得ております。その上、本学科の先生方は、実際に本物に触れることに優れるものはなしというのでしょうか、よく学生達を外部の展示施設に案

内するようです。私もこうした美術品を見て歩くのが好きで、諏訪湖畔にある北澤美術館では先生に引率された学生達が見学している時、偶然一緒になる事も何度かありました。

生活科学部食生活科学科、生活環境学科、生活文化学科の3学科の性格は日々進歩する生活の様式を学び、それらを総合的に結びつけ、新たな生活を創造していく学問領域です。学問が細分化して参りますと、人間生活全般にわたる全ての領域で新しい書籍が必要とされるのですから、数限りありません。この点文学部において要望される書籍とは大分様相が異なります。極端な表現をすれば、文学部では古い書籍ほど貴重ですが、生活科学部は新しいものが評価され、うっかりすると古いものは無用の長物となりかねません。そうした意味では選書が大変難しいので各学科の先生方に新刊図書リストを配布し、選んでいただき、購入するようにしてきました。

図書はいずれも人に利用されるためのものであり、利用しやすい状態にするのが図書館のあるべき姿です。十年一昔といいますが、私が図書館長であった約10年前と現在とは隔世の感があります。私達は図書館利用者に対して素早く対応できるよう図書整備にコンピュータの導入計画を立て、一部機械化が進みましたが、当時はまだまだ微々たるものでした。蔵書の遡及入力をはじめたのは後任の三隅館長の時代からですが、その後急速に機械化が進み、昨年には全蔵書のコンピュータ入力が完了し、大学、短大のパソコン端末で瞬時に所蔵情報を調べることができます。また、文部省主導の学術情報システムによって全国の大学図書館の所蔵資料を相互の協力により利用できるようになり、学術雑誌の文献提供も可能にしています。さらにインターネットを利用し、全世界の大学図書館所蔵資料の情報も検索できるようになりました。

本学では、他大学に比較すると図書購入にかなりの経費を支出しておりますが、仮に求める本が本学になくても、大部分は皆さんの要望に応えられるようになっています。

この様に図書館利用者によくかつスピーディーに対応できるようになったことは大変素晴らしいことですが、ここで一つ提言をしたいと思います。

昔、私達は時間さえあれば図書館に潜り込み、一冊一冊の図書を丹念に探り、文献を自分で探したものです。そこには様々な思わぬ収穫がありました。それが後に大変役にたつこともあります。このことは旅行と同じで、飛行機や自動車などの乗り物を利用する旅とは異なり、自分の足で歩いて旅をする中には貴重な発見もあります。是非、図書館を利用するにあたってはこのようなゆったりとした時間もとり、じっくりと勉強してみてください。

『国立英国図書館The British Libraryを訪ねて』

大学 美学美術史学科

専任講師 片桐頼継

今年の夏、学生の美術ツアーに同行した際、旅の最終地ロンドンで、開館してまだ間もない英国図書館を訪ねてみました。というも、この新図書館はいま世界中の図書館関係者や研究者たちから注目されているからです。また、大英博物館から徒歩でわずか15分なので、ちょっと立ち寄るのに便利だったことも理由の一つです。そしてそれもそのはず、もともとこの図書館は「大英博物館図書館」として博物館内に併設されていたものです。

ところが蔵書件数が増加して収容しきれなくなったことや、古い建物は蔵書の保管や保身に不向きなことなどから、独立した国立中央図書館を新たに建設すべきだという声が上がリ、早くも1970年代に建設計画が立案されました。

その構想はじつに壮大なもので、新しい近代的な建物を建設し、それまでいくつかの国立図書館群に分散していた蔵書を一括して保管し、なおかつ検索から閲覧・資料提供などを最先端のテクノロジーによって行うというものです。しかし、旧大英博物館図書館への愛着や、新館のデザインと都市景観との不調和、莫大な建設費、予算削減による計画の縮小、技術上の諸問題など、種々の難問を抱えながら計画は進められ、二十年近い歳月を経て、1997年にやっと完成したのです。

さて、英国図書館へは、バスや地下鉄を使います。ユーストン駅からセント・パンクラス駅あるいはキングスクロス駅で下車すればもう徒歩で2、3分です。すると前方に巨大な近代建築が姿を現わします。隣にあるセント・パンクラス聖堂のゴシック風の建築様式とのミスマッチが何とも印象的で、古い街並みに親しむロンドンの人々にとってはたしかに異様な光景かもしれません。しかしオレンジ色のような鮮やかなレンガ色が美しい、それなりになかなか面白い建物です。

ポーチをくぐる広場があり、その突き当たりが館の正面入口です。中に入ると、三階建ての館内の中央が吹き抜けのホールになっており、頭上から自然光が降り注いでいます。ホールの正面には利用者案内のカウンターがあり、その背後にはゆったりとしたコーヒールoungeが設けられています。そんな贅沢な空間内で、建物と同じ明るいレンガ色のプレザーを

着た係りの人たちが利用者の相手をしている様子を見てみると、まるで高級ホテルのロビーにいるような気分です。

初めての来館者は、まずこのホール右手にあるアドミッション・オフィスに行き、登録をします。用紙に必要事項を記入しますが、アンケートに答える要領で該当する項目に印をつける程度でよく、私のように不慣れな外国人利用者も戸惑わずにすみます。次にその用紙を持って担当者の居並ぶデスクに行きます。担当の女性は、パソコンの端末を操作しながら、私が記入した用紙とパスポートを確認し、2、3簡単な質問をすると、「はい、ここを見て下さい」と言います。ふとパソコンの脇を見ると、小さなカメラ・レンズがあるので、慌てて表情や姿勢を正したりしていると、彼女はプラスチック製のID磁気カードをくれました。それにはもう氏名・利用者番号・有効期限(1年間もしくは5年間)が印刻され、準備のできていない私の顔もプリントされています。なんと迅速なこと! 即日どころか、瞬時にしてカードが支給されるのです。

人文科学系と自然科学系の各閲覧室にはこのカードがないと入れません。文献の検索は各所に設置されたコンピュータで行い、読みたい文献を閲覧室のカウンターで請求します。すると文献は地下書庫からベルトコンベアーで運ばれてきます。但し、閲覧のみで、貸し出しはしません。閉館時間も月・木が17時、火・水が18時、金・土が16時半で、もう少し延長してほしいという利用者の要望も多いと聞きます。それ以外にも運営上のさまざまな問題を解決していかなくてはならないようですが、「英国内で最大限の利用者サービスをめざす」という理念のもと、今後の発展・整備が期待されています。



Librarian's Selection

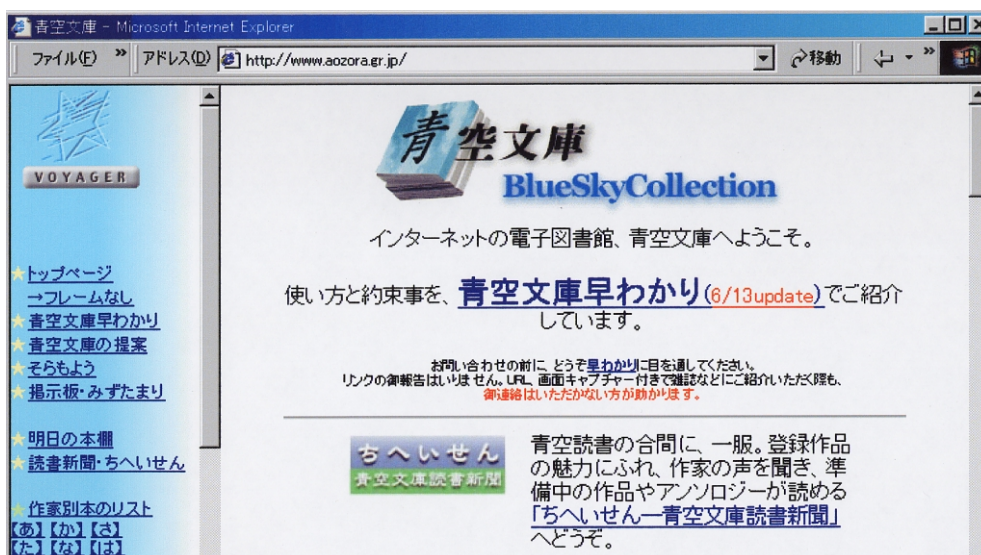
突然授業が休講になってしまったり、友達との待ち合わせまで時間があるなんて時に、図書館や情報ラウンジでネットサーフィンをして時間をつぶす方も多いのではないのでしょうか？ここでは、本や雑誌に関する、ちょっと役に立つお薦めのホームページをご紹介します。

おうちにいながら、本が買える！

『オンラインブックストア bk1』（ビーケーワン） (<http://www.bk1.co.jp/>)

オンラインで書籍を購入できるサイトはいくつかありますが、ここは日本最大の書誌データベース（約180万タイトル）を持ち、それを検索して本を購入することができます。発送も早く、首都圏の場合だと注文当日に本が届く！なんてことも可能です（*在庫状況によります）。送料は1回の注文につき250円。

また、無料メールサービス「bk1 Express」に、好きなジャンル、著者名、書評作家名を登録しておくことで、新刊の情報や新着書評などの情報をメールで知らせてくれるサービスなどもあります。



『青空文庫』のホームページ

未来型図書館！？電子図書館（ネット上で本が読める）のサイト。

電子図書館には有料配信のものもありますが、次にご紹介するのは無料サイトです。

『青空文庫』 (<http://aozora.gr.jp/>)

ここでは、著作者の死後50年以上を経て著作権の切れた作品と、「自由に読んでもらってかまわない」とされたものを、テキスト、HTML、エキスパンドブックの三つの形式で

そろえています。

文学作品が多く、作家別の検索ができます。収書数は1100冊以上(平成12年10月現在)あります。

ユニークな切り口で、本に関する情報を提供している「本の雑誌」が作ったサイト。

『本の雑誌 WEB』 (<http://www.webdokusho.com>)

作家が買った本や、行きつけの書店、自慢の一冊などを紹介する「作家読書道」、新刊採点員の辛口意見が飛び交う「今月の新刊採点」、1989年からの「年刊ベストテン」など読みごたえ十分のコンテンツ。

なかでも「読書相談室」のコーナーでは、「胸がギュッと締め付けられるような切ない本が好きなのですが・・・」とか、「足を骨折して入院することになったのですが、病床読書に合う本ありますか？」などの質問に、本の雑誌社が選んだ読書相談員が応えてくれます。

ここで質問すれば、今の気持ちにぴったりあった一冊が見つかるかも。

「源氏物語」ファン必見！

『源氏大学ドット・コム』 (<http://www.genji-daigaku.com/>)

ここでは、作家の瀬戸内寂聴さんや歌人の俵万智さん、漫画家の大和和紀さんなど源氏物語に詳しい各界の専門家を招いて開かれた講演会「源氏大学」の講義内容を有料で配信するほか、源氏物語についてのさまざまな情報提供を行っています。

生年月日を入れて占う「源氏物語占い」では、作品中に登場する女性達のどのタイプに自分が当てはまるかを占ってくれます。この占い、けっこう当たってます。

今回は私たちが面白いな、学生さんの役に立つといいなと思ったホームページをいくつか紹介しました。でも、日ごろインターネットに慣れ親しんでいる皆さんのほうが詳しいかも知れませんね。

そういった情報や、今後ライブラリーメイトで取り上げて欲しい話題などありましたら、ぜひお聞かせください。

また、ライブラリーメイトを読んでのご意見・ご感想などもどしどしお寄せ下さい！

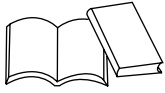
Library Mate 編集委員

『青空文庫』でご紹介した電子図書館は、実践女子大学図書館のホームページ中にもあります。

☆『下田歌子電子図書館』 (<http://www.jissen.ac.jp/library/shimoda/>)

実践女子大学創立百周年を記念して、学園創立者・下田歌子の資料を公開。

生涯、著作、データベース検索のほか、肉声や動画も視聴できます。

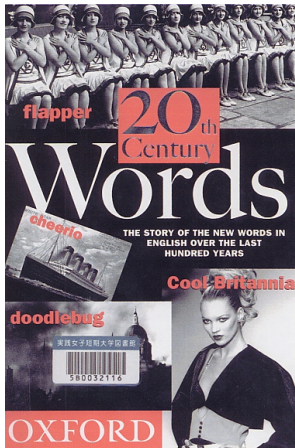


学生に薦める本

短期大学 日本語コミュニケーション学科

専任講師 大塚みさ

John Ayto, *Twentieth Century Words*.
(1999 Oxford University Press)
(短期大学図書館所蔵 423.1-Ay9イ)



20世紀を締めくくるにふさわしい一冊を紹介したい。

タイトルの通り、20世紀に誕生した英語の中から5000語を選び、語釈と解説そして印刷物を提示した、いわば20世紀新語辞典である。

5000語は年代ごとに編集され、各年代のはじめにはその時代背景と新語との関係が詳細につづられている。100年以上の歳月をかけて新語と言語変化の研究に取り組んでいるOxfordの言語調査の賜物と言えよう。

英語で書かれた英語についての本、というと敬遠するかもしれないが、それぞれの専門、興味に合わせていろいろな読み方ができるので、本学のどの学生にも楽しんでもらえる一冊であることと思う。以下、いくつかの読み方を紹介しよう。

まずは、年代順に目を通す読み方。前書きで筆者は「ことばはその時代時代を映す鏡である」と述べている。各年代でどのような意味領域の語彙(ボキャブラリー)が増えているのか見てみよう。(本書掲載の表より一部抜粋。)

- 1900s 車 飛行機 ラジオ 映画 心理学
- 1910s 戦争 飛行機 映画 心理学
- 1920s 衣服/ダンス 運送 ラジオ 映画
- 1930s 戦争 運送 兵力増強 映画/娯楽
- 1940s 戦争 外交 原子力 コンピュータ 宇宙
- 1950s メディア 原子力 宇宙 コンピュータ
- 1960s コンピュータ 宇宙 若者文化/音楽
メディア ドラッグ
- 1970s コンピュータ メディア ビジネス 環境

1980s メディア コンピュータ 金融 環境

非差別用語 若者文化/音楽

1990s 政治 メディア インターネット

歴史の教科書でしか知らない時代を、その時代の新語と共に追っていく読み方である。英単語として知っているものもあれば、escalator(1900)、barbecue(1931)、fast food(1951)、など、外来語として日本語の一部となっているものも少なくない。同一語形に別の意味用法が加わった例(*Spam*1937 *spam*1994)や、頭文字による縮訳語が生まれるまでの過程(*P. T. A.* 1925)も見るができる。

特定の意味領域のことばを拾い読みしてもよいだろう。ファッションや食文化、映画の流行が見えてくるかもしれない。

他言語から借用(日本語でいう外来語)に着目するのも興味深い。筆者によれば、20世紀の英語の新語誕生には4つのメカニズムが認められ、借用は全体の5%程度にとどまる。これは新語に外来語が多い日本語とは対照的であるが、この5%の中にわずかながら日本語語源のことばも見える。大戦の面影を残す *banzai*(1945)、*kamikaze*(1945)、に始まり、*shiatsu*(1967)、*karaoke*(1979)、*futon*(1972)、そしてまだ記憶に新しい *Game Boy*(1989)、*tamago-tchi*(1996)、などである。

そして、ひまつぶしにばらばらめくだけの読み方も大いに推奨したい。有名な *teddy bear*(1906)、の語源や *Mother's day*は *Father's day*(1943)、に35年も先行することを知ったり、*couch potato*(1979)をもじった *mouse potato*(1994)に苦笑したり、と十分に楽しめるのである。こうした楽しみ方は、電子辞書にはない紙の辞書の特権である。

日本語に関しても、先日、現代用語の基礎知識編として『20世紀に生まれたことば』(新潮OH!文庫)が刊行されている。

ことばを通してこの100年を振り返る、そんな機会が持たれてもよいのではないだろうか。

大学—短大間貸出サービス開始 2000年10月2日から

以前から、大学で借りた本を短大へ、短大で借りた本を大学へ返却することは可能でしたが、これからは、短大の本を大学で、大学の本を短大で借りることができるようになります。

申し込みを受けた資料は、当日（昼・夕）あるいは、翌日の昼に利用できます（土曜日はなし）。ただし延滞中の資料がある場合にはこのサービスは利用できないので、注意して下さい。

【サービス時間】

	受付	引き渡し
平日	9:00～11:00	13:00
	11:00～15:30	16:30
	15:30～閉館まで	翌日の13:00
土曜	9:00～16:00	月曜の13:00

【申込み方法】

「大学・短大間貸出 予約」用紙に記入して、レファレンスカウンターに申し込んで下さい。

※用紙はカウンター前の記載台に置いてあります。

引き渡し時間になったら、メインカウンターに取りに来て下さい。

【注意事項】

- 雑誌、貴重図書、その他貸出禁止の資料は、サービス対象外です。
- 延滞中の資料がある場合には申し込みできません。
- 時間差で貸出できない場合もあります。確実に入手したい場合は、直接所蔵館に行ってください。
- 2日たっても取りに来ない場合は、返却します。
- 延長・予約はできません。（所蔵館に行き手続きして下さい。）

JOIS(科学技術関係データベース)学内端末から検索可能に!

科学技術振興事業団（JST）が提供する、科学技術・医学関係のデータベース「JOIS」が、固定料金制の導入により、学園内の端末から自由に検索できるようになりました。

【利用方法】

学内LANに接続している端末からならどこからでも利用できます。大学・短大図書館ホームページ上の「JOIS科学技術文献データベース」をクリックして下さい。その後、自分の名前を入力し「スタート」をクリックします。

※図書館内の利用案内端末からも利用できます。



【JOISで検索できる主なデータベース】

データベース名	収録期間	収録件数	対象分野	内容
JICSTファイル	1975年4月～現在	約1,300万件	科学技術全般	科学技術(医学を含む)全分野に関する文献情報
JMEDICINE ファイル	1981年4月～現在	約400万件	医学・薬学	日本国内の医学文献情報
MEDLINE ファイル	1972年1月～現在	約900万件	医学・薬学	米国国立医学図書館(NLM)が作成・提供する医学文献情報(英文ファイル)

❀ ❀ ❀ いんふお-め-しょん ❀ ❀ ❀

2000年12月～2001年3月

大学図書館

冬休み特別貸出

期間:12/13(水)～12/27(水)
返却日:1/11(木)
対象:図書のみ 冊数無制限
雑誌・指定図書は通常通り

冬休み中の開館

開館日:12/21(木)、22(金)、26(火)、27(水)
開館時間:9:00～16:00
※12月25日(月)は書庫整理のため閉館

試験期の開館

1/9(火)～1/27(土)
月～金 8:50～18:45
土 8:50～16:00

試験期の貸出

1/9(火)～1/23(火) 3日間貸出
対象者:大学生、短大生

試験終了後の開館

開館日:1/29(月)～1/30(火)
2/5(月)～2/17(土)
3/5(月)～3/24(土)
開館時間:9:00～16:00
※1/31(水)～2/3(土)は入試のため閉館
※2/19(月)～3/3(土)は蔵書点検のため閉館
※3/10(土)は後期入試のため閉館
※3/20(火)は卒業式のため閉館
※3/26(月)～4/4(水)は新年度準備のため閉館

春期特別貸出

期間:1/24(水)～3/24(土)
返却日:4月10日(火)
[卒業予定者 3月19日(月)]
雑誌・指定図書は通常通り
※詳細や変更は掲示にてお知らせします。

短期大学図書館

冬休み特別貸出

期間:12/13(水)～12/25(月)
返却日:1/10(水)
対象:図書 冊数無制限 AV資料 6点
指定図書・雑誌は通常通り

冬休み中の開館

開館日:12/21(木)、22(金)、25(月)
開館時間:9:00～16:00

試験期の開館

12/11(月)～20(水)、1/9(火)～23(火)
開館時間延長
月～金 9:00～18:00
土 9:00～16:00
1/24(水)～1/27(土)
水～金 9:00～17:30
土 9:00～16:00

試験期の貸出

1/9(火)～1/23(火) 3日間貸出

試験終了後の開館

開館日:1/29(月)～1/30(火)
2/13(火)～3/19(月)
開館時間:9:00～16:00

休館日

※12/6(水)は書庫整理のため
※1/31(水)～2/10(土)は入試、蔵書点検のため
※3/10(土)は後期入試のため
※3/20(火)～4/4(水)は卒業式、新年度準備のため

春期特別貸出

期間:1/24(水)～3/19(月)
返却日:4月10日(火)
[卒業予定者 3月19日(月)]
対象:図書 冊数無制限 AV資料 6点
指定図書・雑誌は通常通り
※詳細や変更は掲示にてお知らせします。

編集後記

いよいよ20世紀から21世紀へと新しい時代をむかえますね。今号から“Librarian's selection”という新コーナーがスタートしました。

ライブラリーメイトでは、みなさんからの意見や情報もどんどん取り入れていきたいと思っています。

Library Mate 第25号 2000年12月

発行所 実践女子大学図書館
東京都日野市大坂上4-1-1
URL:<http://www.jissen.ac.jp/library/>
実践女子短期大学図書館
東京都日野市神明1-13-1
URL:<http://www.jissen.ac.jp/library/jcol/>
発行責任者 板垣弘子